第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和6年度第4回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会		
開催日時	令和7年1月28日（火）午後4時～4時55分		
開催場所	町民センター3階 小学習室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p><推進協議会> 出席委員：小林会長、大森副会長、橋本（晴）委員、吉野委員、遠藤委員、古谷委員、菅原委員、和田委員、橋本（拓）委員 欠席委員：今村委員、 <事務局>菊地町民部長、尾畑町民窓口課長、三留町民窓口課副主幹 <傍聴者>なし</p>		
議 題	1 「第6次さむかわ男女共同参画プラン」（案）のパブリックコメント結果について 2 「第6次さむかわ男女共同参画プラン」（案）の確定について 3 その他		
決定事項	○今回の会議録承認委員に遠藤委員、古谷委員を指名		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 町民窓口課長 2 議事録承認委員の指名 遠藤委員、古谷委員 3 議題 【事務局】議題に入ります前に、今回の会議の目的を御説明申し上げます。議題（1）は、「第6次さむかわ男女共同参画プラン」（案）のパブリックコメント結果について。第6次さむかわ男女共同参画プラン（案）について、パブリックコメントを実施しましたので、御報告をさせていただきます。（2）は「第6次さむかわ男女共同参画プラン」（案）につきまして、本日は協議会として案を確定していただきたいと思っております。よろしくお願ひします。 それでは、これより議題に入りますが、推進協議会設置要綱第6条にしたがいまして、これ以降の会議の進行は、議長である小林会長にお願ひしたいと思ひます。小林会長、よろしくお願ひいたします。 【小林会長】まず皆様、こんにちは。お忙しい中でお集まりいただきまして、ありがとうございます。本当に1年間、いろいろな話をしていたということで、だんだん大詰めに来たと思ひます。今日も活発な意見を出していただければと思ひます。		

私ごとというか、うちの学校のことになってしまうのですが、ちょうど昨日、1人の教員が理科の授業のときに、生命誕生をやるので、よくお母さん教室で使う赤ちゃん人形とマタニティ、何というの、おなかのジャケット、ベストみたいなもの、そういうのを寒川町は貸してくれるのでしょうかという話がありまして、いや、分からないけど聞いてみましょうということ、昨日役場へお電話をしたら、役場のほうでも、子育て支援課でいろいろ持っていらっしゃって、すぐ手配というか、貸していただける準備をしました。使うのは2月14日ですが、本当に小学校5年生、この時期からそういうことも、一つ一つやってみたいという若い先生方の気持ちがあって、いいことだなと思って、私もできる限りどんどん調べてやりましょうという話をしたところです。小さい頃から子供たちが、男子、女子なく、ともに、本当に輝くようにということで、いろいろなことを学んでいってほしいという環境の整備をしていきたいなと思った次第です。すみません、私ごとで。

それでは、これから議長であります私のほうが会議の次第にのっとって進めてまいりたいと思います。

それでは次第の4、議題に移ります。(1)「第6次さむかわ男女共同参画プラン」(案)パブリックコメント実施結果報告書(案)について、事務局から御説明をお願いします。

【事務局】それでは、議題(1)「第6次さむかわ男女共同参画プラン」(案)のパブリックコメント結果について御説明させていただきます。

資料の1を御覧ください。令和6年12月7日から、令和7年1月6日までの31日間にわたって実施したパブリックコメントの実施結果をまとめたものになります。内容を御確認いただき、御意見等がございましたら、よろしくお願ひいたします。以上です。

【小林会長】説明が終わりました。資料1になります。議題1について、何か質疑等はございますでしょうか。このプリント1枚ということで、特に何もなかったですねということでしょうか。

【事務局】そうですね。御意見ゼロということで、なかったということでございます。

【小林会長】何かありますか。よろしいですか。

それでは、議題1はこれでもう、結果ということで入れさせていただいて、次に進めていきたいと思ひます。続きまして、議題の(2)「第6次さむかわ男女共同参画プラン」(案)について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】それでは議題(2)の「第6次さむかわ男女共同参画プラン」(案)の策定について、御説明させていただきます。

資料2は、「第6次さむかわ男女共同参画プラン」の最終案となります。今回のパブリックコメントでは御意見がなかったため、(案)の修正は行っておりません。今後、この内容で確定の手続を進めてまいりますので、委員の皆様、最終確認をお願いいたします。

以上です。

【小林会長】御説明が終わりました。これは見ていただくお時間を取ったほうがよろしいでしょうか。

そうしましたら、今まず少しお時間を取りますので見ていただいて、その後、質問等をお受けしたいと思います。よろしいでしょうか。5分くらい、中のほうを見ていただければと思います。よろしく願いいたします。

(内容確認)

【小林会長】それでは5分ほど過ぎておりますが、なかなかこの短い時間で全部を見渡すことは難しいと思いますので、全体について御意見をいただいたところの修正の有無とか、何かお気づきの点、質問してみたい点がございましたら何とぞよろしくお願いいたします。

橋本委員。

【橋本(拓)委員】気になったというか、3ページの基本的な考え方、(1)番8行目、「近年では性的マイノリティー(LGBT等)」とあるんですけど、13ページ見ていただいて、そこにも同じ性的マイノリティーの記述があり、そこにはLGBTQとあって、ちょっと今調べてみたんですけど、このQというのはQuestioning、揺れ動いている方というのが多分いらっちゃって、最近是多分Qというのが入ってきたので、入れたほうがいいのかなど思いました。この3ページのところに、LGBTQ等のほうがいいのかなど。以上です。

【事務局】ありがとうございます。それでは、そうですね、確かに橋本委員おっしゃるように、Qを入れたほうが、13ページもありますし、こちらも入れたほうがいいのかなど思います。どうでしょうか、入れる方向、入れるということ。

【小林会長】皆さん、どうでしょうか。入れることでよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

【小林会長】ほかに何かお気づきの点や質問したい点ございますでしょうか。中身は関係ないのですが、前回のと比べて、中身がすっきりしている感じになると思います。

【事務局】そうです。それで今のお出しさせていただいているのは、計画のもので、これまでも、アンケートと、あと要綱ですとか、これは同じように、最後に、製本するときにはつけさせていただきたいと思っております。

【小林会長】要綱とか。そうするとボリューム的には同じくらいになるのですね。

【事務局】そうですね、大体同じくらいになります。

【小林会長】 特にはないですか。皆さんいかがでしょうか、いいでしょうか。

【事務局】 すみません、ちょっと1点よろしいですか。こちらで作っているのですが、表紙なんかは令和7年度（2025年度）という形で、こちらが年号と西暦が併記してあって、ほかもそうしたほうがいいかなという場所も中にはあるかと思うのです。本文も全部そうするのか、その辺り、見栄えとか、併記するところはこちらのほうで、したほうがいいというところは後ほど直させていただいてもよろしいですか。

【小林会長】 和暦と西暦、並べるのですね。

【事務局】 そうですね。例えば2ページのこういうところは、もしかしたら併記のほうが、計画期間とかいいのかもしれない。見栄えとか、統一性で問題がありますので、その辺りは統一性を考えて。やはり併記したほうが分かりやすい部分もあるのかなと。御意見いただければと思うのですが。

【小林会長】 ごちゃごちゃとならなければいいと。

【事務局】 そうですね、そこが、字数が増えるので。

【小林会長】 ではそれでよろしくお願いします。

どうでしょう、前回とで、皆さんの専門の分野等、お気づきになられたことを、少しずつ文言を変えていただいたりしたと思うのですが、その辺は大丈夫でしょうか。

私が、これがもし聞かれたら答えられないかと気がついたのが、例えば42ページの、ファミリーサポートセンターの事業者の活動件数目標が、とても細かい数字になっていて、全体は結構、ある程度大まかな、すっきりした数の言い方でいいのですが、これ、根拠は何ですかと聞かれたとき、何か根拠になるものは特に書いてないのですが、例えばこれは子育て課から出てきている資料だと思うのですが。

【事務局】 これは、町の人口推計に基づいて算出しております、子供の数が減少、そこから計算したのですが、子供の数を割り出したということで、このように細かい数字になっているのかなと思うのですが、町の人口も減少する見込みとなっております、子供の数も減少する見込みとなっているため、このような数字となっております。

【事務局】 件数がわざわざ何十何人になっているから、その根拠が何かあるのかなという。

【事務局】 ごめんなさい、その根拠が、今はお答えができないのですが、確かに細かいですよ。

【事務局】何らかの計算式がないと、多分この数字にはならないと思うので、そこは確認したほうが。

【小林会長】確認してもらって。別にそれ、1未満とか、10未満は切れるのか、それともやはり、しっかりとこの数を残しておきたいなら、要は、何か人口推計の計算よりとか、入っただけで、ああ、そこから計算したらこうなる、よく分からない計算方法だけど、何かを計算したので分かればいいのですが、ほかはみんな、何となく目標値的には大体、これから見て何十人くらい、何百人くらいで、このとても細かいところは何人が何でという、少し気になっただけです。

【事務局】確認いたします。

【小林会長】別にこれが駄目というわけじゃないです。お願いします。

【遠藤委員】私も今のところで、やはりファミリーサポートを確認しておりますので、気になっていたところが、あれだけの人数がどうして下がっているのかなというのを知りたかったので、今、質問していただいたことで、やはり人口推移のかなという予想はあったのですが、その一言があると、分かりやすかったなと感じました。そうだなと思いました。

【小林会長】ありがとうございます。ほかにも何で計算したのと知りたいものはいっぱいあるのですが、多分ざっくりしていれば、ざっくりでもいいけど、これだけはっきり書かれると何か。

【遠藤委員】思いました。

【小林会長】ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。
吉野委員、何かお気づきになったような記憶があるのですが。

【吉野委員】ごめんなさい、私、前回自分が言ったかなどうかなという、議事録でさっき確認していたのですが、私はここが気になって一言なのですが、33ページのハラスメントの処分の件数という。処分がゼロと。ここがとっても気になって。それは処分がゼロなことに対して、こしたことはないのですが、実は相談件数は多いほうがよいとか思っていて、ハラスメントのね。だからこの考え方。私はこの前、自分の中では何か言いたいと思っていたのですが、前回言ったかな、どうかなとか思っていて、そしたら言ってなかったみたいなので、ちょっと言いにくくなってしまいました。

とても前からここが気になっていて、33ページの下のバーなのですが、処分数がゼロという。確かにゼロが一番いいのですが、そういうことが言える環境。だから、実は相談件数みたいなものはいっぱいあってみたい。面接回数とか、そういうものを。町の職員の中じゃないですか。私も具体的には分かりませんが、こういうのは、例えば上司が1回1回面接をしながら、そういうことあります？ みたいな、聞いたりとかするのかなという、そういうイメージはですね。

【事務局】イメージですか。多分こちら、私のイメージですと、人事課というところがありまして、そこが全部所管しているのですね。何かありましたらそこで相談という形で案件が上がりまして、そこで事情聴取という言い方はおかしいのですが、双方の意見を聞いて、もし何かあればそこで判断を下すという形です。そういった委員会が人事課で持っていますので、そこで何らかの処分が出たらと思うのですが。

【吉野委員】今までゼロだったのですか。

【事務局】今まではたしか、私は聞いた記憶が今のところないですけども、逆にないのが当たり前で指針にしているというところも、多分疑問になられているかと思うのですが、そうですね。

【吉野委員】今結構すごく、世の中では割とすごく重要視されていて、だから、自ら言いにくい方がいっぱいいるじゃないですか。自分がそういうことを受けていたとしても。ということは言いにくいわけで、そうすると、逆に聴く体制、一人ずつに寄り添うみたいな部分のことが、実は求められているのかなと思ったので、人事課のほうに、自分がこういうことをされてますということはなかなか言いにくいと思うのですね。

【事務局】今、町のほうで、ネット環境があるのですが、口頭では言いづらい部分もありますので、一応相談箱というのがありまして、こういったことで悩んでいますという形で、匿名でも、匿名では意味はないとは思いますが、匿名でそういうことがありましたという形で投書をすることもできるのです。ですから窓口としては、一応意見は言える状況はつくっているのです。直接言えない方でも匿名でという形で。その辺ちょっとまた難しいところが、昨日の会見ではないのですが。

【吉野委員】そうそう。

【事務局】ああいうふうになるので。秘匿性があるとか、そういう部分で難しい案件だとは思っています。

【小林会長】多分、すごく考えられて、この目標値を出していると思います。去年までは、庁内での啓発回数になっているのですが、今回、処分件数になっていますから。

【吉野委員】そこがすごく気になる。

【小林会長】すごくやはり重いというか、やはりゼロじゃなきゃいけないと思うし、目指すはゼロで、目指すはゼロだけど、その中で今、委員が言われたみたいな、本当は相談できる、相談回数があるというところで、相談できる環境づくりみたいなところがあつたらいいなと思います。

【事務局】これだと表立った部分で、潜在的な部分はまた別なところにあるという御意見で。

【吉野委員】すごく、ここにはっきり、こうやって出すことは逆にすごい勇気要るなと思って。これが例えばですよ、1件とか出てくる可能性が逆にあるわけですね。

【事務局】ええ。それは何なんでしょうという話に。そうなると多分、新聞発表等々になっていくと思いますので。

【吉野委員】ですよ。ここに目標値とすることがどうだというのはすごく思ったのです。

【事務局】そうですね。なくて当たり前の。目標ではないですよというところですね。

【吉野委員】という感じが少し私の中でしたので、すごく気になる。

【事務局】御意見、すごく分かります。

【小林会長】ありがとうございました。ではこれは、今回は、ひっくり返すのはいろいろなことでできないと思うのですが、その含みは一応持っていて、また改定できる部分かどうか相談を。

【事務局】そうですね。

【小林会長】意見も出ていることは伝えていただきたいので。

【事務局】分かりました。

【小林会長】ありがとうございます。まだ言い足りないところとかありますか。

【大森委員】そのほかのほうで聞きたいことがあって。

【小林会長】そうしましたら、議題の(2)についてはここまでということ。

【事務局】ごめんなさい、1点すみません。こちらの案の中の、いろいろな課名が書いてあるのですが、来年度、町で機構改革がございまして、課名が変わったり、所管が変わったりする部分がありますので、御承知おきください。この発行は3月なので、これはこのままになるかと思うのですが。

【小林会長】4月から課名が変わる。分かりました。ありがとうございます。

それでは、御質問、質疑のところを終わらせていただきたいと思います。議題2についてはこれで終わりということで、引き続き、5、その他に移りたいと思います。

委員の皆様から、何かその他でございますでしょうか。

【大森委員】 いいですか。

【小林会長】 大森委員どうぞ。

【大森委員】 御質問させていただきたいのです。ここまで資料をまとめていただいて、どうも御苦労さまでした。大変ですよ、こちらのほう。ありがとうございます。

今この様々なお立場のある方が皆さん集まられていると思うのですが、この男女共同参画プランの推進委員会、ここで集まっているのですが、この集まっている趣旨というのは、こういうのを取りまとめたことに対して承認をする場なのか、それとも、意見を言って、こちらのほうのパブリックコメントとかいろいろやるじゃないですか。こういうふうにやったらいいよという意見を発信できるものなのか、どういう意味の立ち位置というか、今日この参画プランの推進委員会が、どの方向を目指しているのかというのが分からない点があるのですが、まず1点目、そちらを御質問させていただけるとうれしいなと思ひまして。難しいですか。いつもそうやって言うと、何か余計なこと言わなければよかったなとも思うのですが。

【小林会長】 よろしいですか。

【事務局】 ありがとうございます。それで今の御質問なのですが、手堅いという感じで言えば、要望があつて、男女共同参画プランの策定とか推進をしていくとか、あと、いろんな問題解決のための施策とかについて話し合っていたとかということ、ですので、いろんなお立場にいらっしゃる方から意見を聞くことによって、このプランを策定するというのと、あと、どうやったら男女共同参画を進められるかということなのですが。ですから、大森副会長のお話、その両方といいますか、そういうことにはなるのかなと思うのですが。

【大森委員】 では今、こちらのお立場とかいう中だと、会長さんとか、お立場とか、皆さんあると思うので、こういうことを参考に、そういうものをどんどん、どんどん、広めていくというか、平等というか、そういう動き、啓発していくような行動をしてほしいよという。

【事務局】 そういうこともやっていただけるとありがたいですね。

【大森委員】 そういうことなのですか。

【事務局】 はい。

【大森委員】分かりました。では、その中で、今、様々のものがあるのですが、これ僕、何回もしつこい男なので言うてしまうのですが、今、多種多様に価値観とか生き方を認められる時代にどんどんり始めてきたから、環境を整備していくのも大変だと思うのです。その中で、ここに今、記録で残っていたところだと、有休の問題とか書いてあるのですが、何回も言うのですが、権利を主張する前に、義務もあるよということを、どこかの場でしっかりと教えられるカリキュラムをしっかりとつくっておかなければ、権利ばかり主張されちゃうと、じゃあ有休があるからと、役場さんの町民窓口課さんで5人いて、5人とも有休だからと休んだら、ここは機能しなくなるじゃないですか。

そういうふうに、みんな周りの空気というか、そういうのをもう少し見れないと、今は権利ばかり主張する人がいるということの中で、今、ほかの委員会でもよく話になるのですが、自己解決能力と自己判断能力、これを養えるような環境をどこかのところで、どんどんカリキュラム、全然違うところの、余談の5分間とかでもいいから、自己解決能力と自己判断能力というのをやっぱり入れていかないと駄目なのではないのかなというのと、この男女の輝く資料2の5ページのところで、国内の全雇用者中の47.3%が女性ですが、そのうちにと。数字、全国統計のこの統計は僕、やはり参考にはいいと思うのですが、前も偉そうにお話ししたのですが、性別だけではなく、能力と環境に適したことに逆に配慮してあげないと、数字ばかりにとらわれてしまうと、数字も大事なのですよ、もちろん大事なのですが、とらわれてしまうと、逆に女性ないし、能力のない方が無理をしてしまって、じゃあ逆にそれが、新聞沙汰になってしまうとか、そういうことにもなりかねないから、配慮して、寒川独自のオリジナルのそういうものをつくっていく。

もっと温かかくて、例えば女性のリーダーシップが寒川町は少し低いよと。低いけど、寒川町の方々が、みんな笑顔でいろいろ意見を交換できるよという町の場合、逆にその数字は低くて、僕は個人的にはいいとは思うのです。ただ、国が定めた数字というものには、それは定義になるので、その定義にのっとって、でも寒川町はこうだよということがしっかり説明できればいいのではないのかなと思うのですけれども、いかなものかなと思って。そういうことを発信できるのかなというのと、あと前回のときかな、今、全体的に人手不足ということがうたわれているのですけれども、産業振興課さんもたくさんの方を、今見させていただいたらやられているのですが、もっと企業さんが、働くママさんとかじゃなくても、今まで働いたことのない、能力のある女性の方はたくさんいるのです。今子育て終わって。だけでも関心がないというか、そこに対しての興味というか、見る機会がないから、つつい自分の今までのところの、小さい世界の中で決めてしまう傾向もあると思うのです。

なので、そういうので企業さんと、女性ないし男性でも、皆さん、男女問わず、もっとお互いが交流を持てる場を持つことによって、人手不足のところも解消できるのではないのかな。それには企業さんも、働いてくれる方に配慮したり、時間とかも配慮できる。逆に働く方も、さっき言った権利とか、そこだけじゃなくて、ここの部分は頑張っていこうとか、ブラック企業になると言っているわけじゃないですよ。そうい

うことでみんなが思いやりを持つということが大事なのではないかなと思います。

なかなか難しいと思いますけれども、こちらのほう、計画が結構長いですよ。令和10年度とかと長いので、すぐには実現できなくても、そういう思いやりを持つということも配慮しながらの策定案に、徐々に変えていっていただいて、本当にあったかいまち寒川というのは、寒川は4万8,000ですか、人口。4万8,000の人口で、半径5キロしかない町がゆえに、寒川愛が強い方も結構強いですし、団結力もすごい強いなど。僕はもともと静岡県民なので、団結力がすごい強い町に驚いているのです。それは今、取り巻いている環境のおかげなのか、寒川町民の町民性なのか、寒川神社さんのおかげなのか、寒川町長のおかげなのか。団結力があるので、こういうものを、本当にあったかいまち寒川、帰ってきたくなるまち。今、僕とかは学校の町と業務のほう、関わっているのですが、子供たちが寒川大好きというまちをつくるには、我々大人たちがやっぱり笑顔じゃない限り、子供たちは夢も持てないし、寒川大好きになれないと思います。偉そうですみませんけども、そういう意見とかがたくさん出て、それをほかの課とかにも、誰が言ったとかじゃなくて、そういうのを伝えて、少しでも変化をつけていただきたいというのが私からの思いです。というか、皆さんの思いでもあると思うのです。よろしく願いいたします。まとまってなくてすみません。

【小林会長】ありがとうございます。寒川らしさみたいなものがもう少し入るといいねということですね。

【大森委員】そうですね。まとめるとそうですね。

【小林会長】要するに、どこでも使えるみたいなじゃなくて、この寒川町だから、ここがあって、このプランがあるみたいなものが、前段でもいいから何かあったらみたいな感じのことをおっしゃっているのかなと。

【大森委員】そうですね。

【小林会長】ないですよ、そうやって見れば。私もだから、改めて見たら。

【大森委員】どこでも使えますよね。

【小林会長】ええ。という感じに見えてしまうところがあるですね。

【事務局】今の大森副会長のお話で、ほかの課に伝えてほしいとか、そういうことはまずはできることですので、そういう中で少しずつ、変わっていける可能性はあるのかなとは思いますが。

【大森委員】すみません、寒川だからできるというのを、みんなやってきたら楽しいですよ。行政の方は大変だと思うけど。

【小林会長】なかなか熱い思いをありがとうございます。

【事務局】ありがとうございます。貴重な御意見とか、ありがとうございます。

【小林会長】確かに行政として出すプランでありますから、こういう数値であったり、きちっとしたものも必要だけど、本当に愛のあるという言葉にね。意味がここに載るようながあると、同じプランとか、同じ計画でも、もしかしたら書きぶりがまた変わったり、逆にそこから、もう少し具体が入ってきたりとか、出だしの思いが少し変わるとか、確かにそういうのも出てくれば。寒川ですね。寒川らしさをね。

【大森委員】そうですね。

【小林会長】それをまた追及して。寒川らしさはどこというのを追及したところから入っていくというものもあるかもしれないですね。1回出ると、次は何年ですか。次の4年後に、ぜひ大森さん、始まる時に思いとかを語ってもらい、そこら辺を少し入れてもらえるように。

【大森委員】そうですね。今すぐではなくて。

【小林会長】どうしても見直しは見直しで今後に行くのですが、やはりそこに、見直す前という、何か始まる前という、前段みたいな、はじめにみたいなどころ、それがあって、どういうまちづくり、皆さんにいろいろ町のほうでやっていらっしゃるプランと、町民レベルでやっていきたいという思いを擦り合わせていくようなのが少し書かれていると、もしかして。そうしたいなという。

【大森委員】そうですね。こういうことも、形だけじゃなく、何か本当の意味で、みんながまとまるというのを、各課でも皆さんやってほしいなという。もしそれで、多分新しいことをやるとなると、皆さん、面倒くさいとか思う。うちも会社だからそう思います、やはり。だけど、もしそう思ったら、校長先生には失礼になってしまうかもしれないですけど、各小学校、今、5校あるじゃないですか。中学校3校あるじゃないですか。そこに行って、子供たちがこんにちとはと挨拶してくる顔見たら、やりたくなると思います。あんな純粋な目でおはようございますと言われたら、この子たちに、何かやっぱり残していかないといけないと思うので。僕は何もできないですけど。

【事務局】また、いろいろアドバイス等いただけると。

【橋本（拓）委員】いいですか。今少しお話聞いていて熱いなと思って。そこのキーワードには、何か助け合いとか、思いやりみたいな、僕はイメージがわいてしまって、1個、キーワードが僕はわいてしまって、それが「高座」のころ。」なのかなと、少し僕は思いました。すみません、どうでもいい話なのですが。そういうのをもしかしたらキ

ワードにするというのも、次のときにはありなのかなと、すみません、個人的な考えなのですが思いました。以上です。

【小林会長】「高座のころ。」はここにあるだけじゃなくて、そこに思いが入っていけるような、みんなの思いが入っているのですね。

【橋本（拓）委員】多分、この町として出していますよね、皆さんあるから何かというので、今、お話聞いていたら、それと思いやりとか助け合いだから、そことつながるところがあって、そこに寒川らしさというのがあるのかなと。すみません、機会があったら。

【小林会長】はい。ありがとうございます。

【大森委員】そんなのいいですね。「高座のころ。」。

【小林会長】今日の給食は『「高座」のころ。』鍋というおみそ汁でした。寒川町内で作ったお野菜がふんだんに使われて、地場産のものをいっぱい使われて、町民センターでおみそを自分たちでお豆から作ったというものをおみそ汁とかお野菜だとか。それを今度、本当に町民の皆様から寒川らしさというところは、もっと入ってきたらいいかなと、すてきですね。ありがとうございます。

ほかに何か、せっかくの機会ですので、何かございますでしょうか。

それでは、ほかにないようでしたら、事務局から何かあったらお願いいたします。

【事務局】皆様、御審議ありがとうございました。今後の予定ですが、本日皆様に御審議していただいた内容を踏まえ、最終調整し庁議に諮り、第6次さむかわ男女共同参画プラン決定となります。

別件ですが、本日、机上配付させていただきました、仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座「伝えるから伝わるへ～相手の心を動かすコミュニケーション術～」という、県立かながわ男女共同参画センターさんと共催で実施いたします。お申込みが2月10日までとなっております。オンライン開催になりますので、ぜひお申込みいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

それと最後に、この推進協議会委員についてですが、男女共同参画プラン推進協議会設置要綱に基づきまして、様々な団体から御選出いただいておりますが、任期が2年間になっておりまして、この3月31日をもって満了となります。委員の皆様には、2年間にわたり、お忙しい中、会議に御出席いただき、第6次さむかわ男女共同参画プランの策定に当たり、貴重な御意見、御提案をいただきまして、誠にありがとうございました。

令和7年度からの委員につきましては、事務局から選出団体宛に推薦依頼をお送りさせていただきます。現委員の皆様には、できましたら、引き続きお引き受けいただければ幸いです。選出団体の御事情もあるかと思っておりますので、よろしくお願いたします。

事務局からは以上です。

	<p>【小林会長】ありがとうございます。では一応、我々はここで一旦委員を終了ということになると思います。また7年度から新しく、この会議は続いていくということですね。</p> <p>【事務局】ええ、そうです。</p> <p>【小林会長】でもまあ、1年間、本当にいろんな場面でいろんな思いとか、いろんな立場の状況をお話ししていただきまして、本当に私も楽しかったですし、勉強になりました。ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の日程を終了ということで、進行を事務局にお返しいたします。</p> <p>【事務局】小林会長、議事進行お疲れさまでございました。ありがとうございました。</p> <p>皆様もお疲れさまでございました。本日はお忙しい中、お集まりいただき、貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>今後も、寒川町の男女共同参画プランの推進に、皆様のより一層の御協力をお願いいたしまして、閉会の言葉とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>7 閉会</p>
資 料	<p>○令和6年度第4回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会次第</p> <p>○資料1 第6次さむかわ男女共同参画プラン（案）パブリックコメント実施結果（案）</p> <p>○資料2 「第6次さむかわ男女共同参画プラン」（案）</p>
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p>・遠藤委員 ・古谷委員</p> <p style="text-align: right;">（令和7年4月7日確定）</p>